

サーキュラーエコノミー（循環経済）という概念は、近年急速に社会的認知度が高まっている。一方、循環経済が従来の資本主義経済に代わる新しい価値を生み出すのか、資本主義経済がもたらした「経済成長のエンジン」を循環経済が生み出すことで、真に持続可能な発展につなげることができるのか、批判的な意見も出されてきた。

従来の循環経済は、「3R」と呼ばれるリデュース（減量）、リユース（再利用）、リサイクルによって、資源開発と浪費の抑制を目指したものだつた。一方、循

循環経済は資本主義経済を変革するか

アップサイクルが 生み出す新しい価値とは



愛知淑徳大学
ビジネス学部教授
渡邊聰

環境経済が新たな持続可能な経済モデルとなりうるためには物質的循環を実現する中で付加価値を生み出すよ

る「O田マーケット」では、参加者が不要になった衣類を持ち寄つて他者に譲る一方、他者が持ち込んだ古着を一点持ち帰ることができ

る。アップサイクルの価値は、環境面にとどまらない。

従来のリサイクルでは、素材を再加工する過程でエネルギーを消費し、場合によつては品質が低下することがある。しかし、アップサイクルでは、既存の素材を

うな仕組みが必要となる。その実現に向けた手法の一つがアップサイクルである。アップサイクルとは、廃棄物や不要品を単なるリサイクルではなく、より価値の高い製品へと再生することであり、資源の浪費を防ぎながら新たな価値を創出する点で特に有効である。

筆者は、循環経済におけるアップサイクルの重要性を体感できる機会として、2025年4月19日に名古屋市で開催された「循環フエス名古屋」に参加した。このフェスは、リユースやリサイクルの文化を東海地域に広めることを目的としたフェスに焦点を当てた企画が多く展開された。例えば、無料で古着を提供・回収す

る。実際、循環フエス名古屋には多くの高校や大学の生徒・学生によるブースが出現し、思い思いの展示を行っていた。

加えて、アップサイクル

はウェルビーリングの向上にも寄与する。ウェルビーリングとは、身体的・精神的・社会的に充足した状態を指し、持続可能な社会の実現において重要な概念である。アップサイクルを通じた創造的な活動は、個人の精神的ウェルビーリングを高める。例えば、不要になつた衣類を新たなデザインに生まれ変わらせるプロセスは、創造性を刺激し、達成感をもたらす。また、

アップサイクルを通じたコ

ミュニティ活動は社会的に生まれ変わらせるプロセスは、創造性を刺激し、達成感をもたらす。また、古屋においても、県内の大学生が不要な衣類を使つたファッショショニストによるアパレルを用いた「アパレル」をして出演するというアップサイクルを行うことで、単なる物質的な循環の価値にとどまらない共感性や連帯感が生まれたと感じられた。